

# ダイワ ニューカワハギロッド 「軽さは感度」を具現化!

## 【極鋭カワハギEX AGS LC】

●LCとはライトコンセプトの略。一切の妥協を許さず軽量化を追求し、衝撃の自重50グラムを達成。ストレスゼロを目指し、究極のパーミング性能を目指した軽量「ゼロシート」を始め、薄肉、軽量のNリング仕様のAGSガイドなど、数か所のダイワテクノロジーを搭載。同社の調子比較は1133。「軽さは感度」を具現化した一本。9月発売予定。

■SPEC:全長1.75m、継ぎ数1本、自重50g、オモリ負荷5~35号、メーカー希望本体価格7万8800円

## 【極鋭カワハギAIR】

▶極鋭カワハギAIRも2アイテムがリニューアル

●AIR 2本がさらに軽量化しリニューアル。シートが存在を感じさせない「ゼロシート」、感性領域設計システム ESS、SMTなどを搭載した。VSの自重は61グラム、1244調子のバーサタイルモデル。F1は自重63グラム、操作性重視、高速設定の1454調子。発売中。

■SPEC:全長1.75m、継ぎ数1本、自重VS61g、F163g、オモリ負荷VS20~35号、F120~40号、メーカー希望本体価格はいずれも4万9800円

## オールラウンドハリス8cm、30本入り D-MAXカワハギ糸付30SS

●カワハギ用糸付きバリの徳用パック50本が30本入りでリニューアル。状況を選ばずオールラウンドで使えるハリス長8センチ。ハリスは好評のサクサ仕様、信頼のDフロンハリス採用。新登場のゼロネオフックも仲間入り。9月発売予定。

■SPEC:スピード6.5、7.0、7.5、8.0号。パワースピード6.5、7.0、7.5、8号。パワーマルチ8.0、9.0、10.0号。パワーフック4.5、5.0、5.5号。ワイドフック2.5、3.5、4.5号。ネオフック3.0、3.5、4.0、4.5、5.0号。ゼロネオフック3.0、3.5、4.0号。30本入りでメーカー希望本体価格はすべて850円。

▲極細仕様で主にワッペンをターゲットにすえたゼロネオフックも新登場  
▲D-MAXカワハギ糸付30SSは全部で7種、すべて8センチ仕様



▲誘い下げ、ゼロテンなどのテクニックを駆使して菅沼さんもLCにブッコン  
▶前田さんは淡々と良型を掛けていった

刺さり優先の極細仕様、トナメント専用タイプなので、今日の状況ではギリギリですね。

「このハリスは刺さり優先の極細仕様、トナメント専用タイプなので、今日の状況ではギリギリですね。」

## 【アドミラ100H/XH】

●今回、メインに使用したリールが「アドミラ100H/XH」。自重135グラムの軽量仕様はLCとベストマッチ。合計185グラムのコンビはカワハギ釣りを異次元のステージに誘うはず。

■SPEC:自重135g、ギア比H6.8、XH8.1、巻糸量PE1号200m、メーカー希望本体価格5万1000円

▶ゼロネオフックにLCの組み合わせ。いつになく慎重な堀江さん



▲「ネオフックはワッペン対応なんだけど」  
▲船中第1号は田淵さんに

荒井良乃介さんが20センチ級を手にながら、「この軽さ、1133という調子表記がどんな使用感をもたらすかが楽しみでした。まず仕掛けを落とすと、いきなり明確な海底情報飛び込んできます。これによってすぐにその場の釣りを組み立てられるのは大きなアドバンテージです」

岡澤船長は今期初出船ながら実績と経験に基づいたポイントを丹念に探っていく。そのたびに20センチ前後のカワハギが船中数枚上がるものの、長続きしない展開だ。

堀江晴夫さんは糸付きバリの新製品「ゼロネオフック」の4号にLCの組み合わせ。20センチを超える良型に、いつも以上の慎重さで取り込んでいる。

「このハリスは刺さり優先の極細仕様、トナメント専用タイプなので、今日の状況ではギリギリですね。」



▲軽量化に貢献するゼロシート



KYOKUEI KAWAHAGI EX AGS LC



●カワハギプロガー大集合。左から菅沼昌樹、堀江晴夫、宮澤幸則、荒井良乃介、林良一、田淵雅生、前田俊(敬称略)

# 宮澤幸則&カワハギプロガー2021新製品実釣会より 驚異の自重50グラム、極鋭LC登場

THE FRONT OF OFF SHORE FISHING vol.67

# カワハギ最前線

▲宮澤幸則さんもLCを手にしたとたんに1枚  
▼続いてVSで中型を追加

at 内房金谷港出船

●田淵さん、LCで船中最大級を掛ける



▼林さんはLCで釣った後はF-1で連発



▲荒井さんもLCでまずは20センチ級

●秋の気配が漂ってくると、本格的なカワハギシーズンが始まる。カワハギ製品の最先端をいくダイワから、今年もロッド、仕掛けの新製品が発売された。それに先立ち、内房金谷出船で行われたダイワスタッフ&同社HPで活躍するカワハギプロガーによる新製品実釣会が行われた。

### 動画連動!

★当日の迫力ある動画はダイワ船最前線のサイトでご覧いただけます。



動画撮影を交えながら各自数枚の釣果を得て、午後1時過ぎに納竿。無事に新製品実釣会を終え、宮澤さんは満足そうに船を下りた。

Cとの相性はバッチリです」  
今回の釣行を企画した宮澤幸則さんもLCで釣果を得たあと、これまた今期の新製品「極鋭カワハギAIR」の2本、F1とVSを交互に使い、それぞれの特性や見合った釣り方などを披露していく。

菅沼昌樹さん、前田俊さんも「これまで体感したことのない釣りを体験できます。早く使い慣れて今期の先発ロッドとするつもりです」と口をそろえた。

「LCの「軽さは感度」は皆さん、実感していただいたようです。リニューアルしたAIRは調子自体はそのままに、60グラム前半の軽さに仕上げられてあります。これまでよりさらにバリエーションアップした仕様なので、使い比べていただくとよく分かると思います」